



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 フランスベッドホールディングス株式会社
コード番号 7840 URL <https://www.francebed-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 池田 茂
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理／総務グループ担当 (氏名) 長田 明彦 TEL 03-6741-5501
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	42,885	0.2	3,136	△2.0	3,171	△1.2	1,960	△3.2
2023年3月期第3四半期	42,758	7.9	3,201	6.8	3,212	6.0	2,026	△0.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,636百万円 (△1.6%) 2023年3月期第3四半期 1,664百万円 (△1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	54.42	—
2023年3月期第3四半期	56.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	63,928	38,444	60.1	1,066.84
2023年3月期	64,679	38,124	58.9	1,058.41

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 38,444百万円 2023年3月期 38,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	16.00	—	20.00	36.00
2024年3月期	—	17.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	21.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	3.2	4,850	8.2	4,850	8.1	3,050	12.8	84.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	38,397,500株	2023年3月期	41,397,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,361,601株	2023年3月期	5,377,343株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	36,030,624株	2023年3月期3Q	36,155,350株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資、インバウンド需要が回復に向かう一方、長期化するウクライナ情勢を始めとした地政学リスクの増加や円安進行などによる原材料・エネルギー価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、2021年5月に公表した3カ年中期経営計画の最終年度として、グループで保有する経営資源をシルバービジネスに集中することで、新しい商品やサービスを通じて、介護人材の不足や老老介護の増加などの社会全体で抱える課題の解決を図っております。また、持続可能な社会の実現に向けたESG経営を推進していくことにより、企業価値の更なる向上を目指しております。主な施策としては、①福祉用具貸与事業への経営資源集中による事業拡大（メディカルサービス事業）、②時代のニーズに合った商品展開による利益率の向上（インテリア健康事業）、③継続的な企業成長を支える経営基盤の強化、に取り組んでおります。

当期におきましては、メディカルサービス事業は主力の福祉用具貸与事業において、コロナ禍収束に伴う在宅から医療機関等への入院等の増加や、物流の2024年問題への対応が迫られる中、配送力不足が顕在化してきたことなどによりレンタル売上が伸び悩んだことと、インテリア健康事業においては、物価上昇やコロナ禍収束後の消費行動の変化により家具店への来店客数が減少した結果、当社グループの経営成績は、売上高は42,885百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

利益面では、インテリア健康事業において、耐久消費財への消費マインドの低下や前期の値上げ前に起きた駆け込み需要に対する反動減などにより、利益率が低下した結果、営業利益は3,136百万円（前年同四半期比2.0%減）、経常利益は3,171百万円（前年同四半期比1.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,960百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① メディカルサービス事業

主力の福祉用具貸与事業においては、継続的なレンタル拡大に向けた営業員やメンテナンス人員の採用により、競争力の強化を図るとともに、医療やリハビリ分野などを含めた様々な展示会に出展を行い、多くの専門職や一般の利用者に商品を体験いただき、レンタルの拡大に注力しました。

新商品の開発では、ベッドフレームの長さに合わせてマットレスの長さを調節できるエアーマットレス「マルチフィットAirマットレス」や、一人で納品と組立てが可能な在宅介護ベッド「RaKuDa（らくだ）」ならびに、寝心地に拘った介護用スプリングマットレス「サイクリンマットレス」の市場投入を行い、全国各地で商品発表会を開催し、ケアマネジャー、利用者、福祉用具卸先へ商品特性を訴求しました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は27,941百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益は2,325百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、耐久消費財への消費マインドが低下する中、自社ショールームを中心に電動ベッドシリーズなどの高機能・高価格帯商品の販売に注力いたしました。

新商品の開発では、フランスベッドの最上位モデルマットレス「THE FRANCEBED」のリニューアルを初め、電動リクライニングベッドの新シリーズ「グランサス」や、エシカルライフスタイルに調和する新しい寝具「エココンフォート電動ベッド」の展開を開始しました。また、2024年1月より、「創業75周年記念モデルベッド」や、上質な寝心地と環境負荷軽減を両立させた上位モデルマットレス「LT（ライフトリートメント）レガシー」を展開する予定です。

ホテル部門においては、国内旅行者やインバウンド需要の回復に伴い、ホテルへの設備投資が活発化する中、エコマーク認定商品などの販売が好調に推移しました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は、14,569百万円（前年同四半期比2.0%減）、経常利益は847百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）と比較して751百万円減少し63,928百万円となりました。流動資産は前期末と比較して54百万円増加し33,020百万円となりました。主な要因として、増加については、有価証券2,000百万円、棚卸資産659百万円などであり、減少については、現金及び預金2,004百万円、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）760百万円などがあります。固定資産は前期末と比較して799百万円減少し30,880百万円となりました。主な要因は、有形、無形固定資産の取得及び償却によるものです。

(負債)

負債は、前期末と比較して1,071百万円減少し25,483百万円となりました。主な要因は、短期借入金及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）1,200百万円などの増加に対し、社債（1年内償還予定）300百万円、未払法人税等948百万円などの減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末と比較して320百万円増加し38,444百万円となりました。主な要因として、増加については、親会社株主に帰属する四半期純利益1,960百万円などであり、減少については、剰余金の配当1,333百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の58.9%から60.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日付「2023年3月期決算短信」にて公表した業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,355	7,350
受取手形及び売掛金	9,482	8,664
電子記録債権	1,025	1,083
有価証券	3,500	5,500
商品及び製品	5,880	6,412
仕掛品	373	414
原材料及び貯蔵品	2,128	2,214
その他	1,257	1,408
貸倒引当金	△38	△27
流動資産合計	32,966	33,020
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,197	7,212
その他(純額)	13,871	13,977
有形固定資産合計	21,069	21,189
無形固定資産		
のれん	929	751
その他	1,295	1,137
無形固定資産合計	2,225	1,888
投資その他の資産	8,385	7,802
固定資産合計	31,680	30,880
繰延資産	33	27
資産合計	64,679	63,928
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,658	2,526
電子記録債務	1,868	2,077
短期借入金	2,550	2,650
1年内返済予定の長期借入金	200	290
1年内償還予定の社債	300	—
未払法人税等	1,069	121
賞与引当金	1,538	832
その他の引当金	16	11
資産除去債務	71	71
その他	6,448	6,438
流動負債合計	16,721	15,019
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	3,900	4,910
引当金	149	151
退職給付に係る負債	507	469
資産除去債務	340	341
その他	3,435	3,091
固定負債合計	9,833	10,464
負債合計	26,555	25,483

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	1	—
利益剰余金	38,706	36,581
自己株式	△4,941	△2,170
株主資本合計	36,766	37,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	△24
繰延ヘッジ損益	12	12
退職給付に係る調整累計額	1,367	1,045
その他の包括利益累計額合計	1,358	1,033
純資産合計	38,124	38,444
負債純資産合計	64,679	63,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	42,758	42,885
売上原価	19,729	19,346
売上総利益	23,028	23,538
販売費及び一般管理費	19,827	20,402
営業利益	3,201	3,136
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	13	12
その他	131	113
営業外収益合計	149	132
営業外費用		
支払利息	69	62
持分法による投資損失	3	1
その他	65	33
営業外費用合計	137	97
経常利益	3,212	3,171
特別利益		
固定資産売却益	1	0
関係会社出資金売却益	16	—
受取保険金	148	—
特別利益合計	167	0
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	20	3
投資有価証券評価損	56	0
関係会社出資金評価損	9	—
特別損失合計	87	3
税金等調整前四半期純利益	3,292	3,167
法人税、住民税及び事業税	878	702
法人税等調整額	386	504
法人税等合計	1,265	1,207
四半期純利益	2,026	1,960
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,026	1,960

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,026	1,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△1
繰延ヘッジ損益	△44	△0
退職給付に係る調整額	△330	△322
その他の包括利益合計	△362	△324
四半期包括利益	1,664	1,636
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,664	1,636
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式3,000,000株の消却を実施いたしました。また、2023年6月28日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月21日付で自己株式16,200株の処分を実施いたしました。これらの結果、資本剰余金が負の値となったため、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が2,752百万円、自己株式が2,771百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が36,581百万円、自己株式が2,170百万円となっております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,542	14,878	42,420	337	42,758	—	42,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	220	222	5	228	△228	—
計	27,544	15,098	42,643	343	42,986	△228	42,758
セグメント利益又は損失 (△)	2,267	970	3,238	2	3,240	△27	3,212

当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカル サービス	インテリア 健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,941	14,569	42,511	373	42,885	—	42,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	231	237	5	243	△243	—
計	27,947	14,801	42,748	379	43,128	△243	42,885
セグメント利益又は損失 (△)	2,325	847	3,173	2	3,175	△4	3,171

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失 (△)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,072	1,124
全社収益及び費用※	△1,100	△1,128
合計	△27	△4

※ 全社収益及び費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社に係る収益及び費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。